

# 目 次

I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて	1
1. 南紀熊野サテライトの紹介	1
2. 2つの受講制度	2
3. 受講モデル	4
II. 大学院科目等履修生の募集	5
1. 出願および履修願の手続き	5
2. 出願書類等	
㊦南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書	7
㊧履歴書	8
㊨令和3年度前期検定料の納入について	9
㊩履修願	10
III. 学部開放授業受講者の募集	11
1. 登録および申請の手続き	11
2. 登録書類等	
㊪学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書	13
㊫学部開放授業聴講申請書	14
㊬令和3年度前期学部開放授業の登録料・聴講料の納入について	15
㊭学部開放授業申請書類受付通知はがき	
IV. 令和3年度前期 南紀熊野サテライト開講授業	16
1. 大学院授業科目	16
2. 学部授業科目	20

# I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて

## 1. 南紀熊野サテライトの紹介

- 和歌山大学南紀熊野サテライトは、大学の研究・教育機能を活用して地域づくりに貢献する「大学の地域ステーション」をめざしています。
- 地域社会と共に育ちあう、創造的な教育、研究、社会連携活動を行います。

和歌山大学南紀熊野サテライトは、地域の現実に対峙し、4つの視点から地域社会と共に育つ、創造的な教育・研究、社会連携活動をめざします。

1. 地域の知の拠点として
2. 大学の知的財産は地域資源
3. 地域・産・学・官みなが共に成長する仕組みづくり
4. 地域知の可能性を引き出す

和歌山大学は和歌山県との連携にもとづき、平成17年4月、県立情報交流センターBig・uに南紀熊野サテライト(設置当時は紀南サテライト)を開設しました。

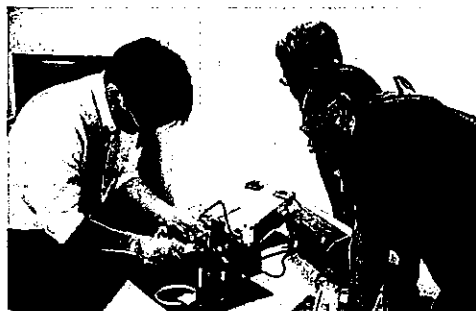
南紀熊野サテライトは全国の地域型サテライトのさきがけであり、下記の事業を行っています。

1. 地域住民の多様な教育ニーズに対応した特色ある高等教育の実施
2. 地域研究の推進および地域の課題をふまえた生涯学習の機会提供
3. 地域自治体、企業等と連携した地域活性化に資する事業の実施
4. 高校を含めた地域に対する大学情報の発信

### 地域課題に沿った科目を開講



大学院科目の様子



機材を使った演習の様子



学部開放科目の様子



「世界農業遺産」現地実習の様子

## 2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」(※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」)があり、それらを南紀熊野サテライトで利用できます。

令和3年度前期に南紀熊野サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上 ※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」をご利用ください。 詳細は和歌山大学ホームページをご覧ください。 <a href="https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/koudai">https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/koudai</a>
選 考	願書および履歴書等による選考	なし(年齢確認のみ)
成績評価	あり	なし
単位認定	あり(成績評価「合格」の者)	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 14,400円(1単位につき)	登録料 7,000円 聴講料 10,000円(1科目)
受講期間	入学後の連続する4学期(2年)間は履修申請が可能	登録後8学期(4年)の聴講申請が可能
修士課程への進学	社会人特別選抜を経て、経済学研究科修士課程に進学することができます。	

### 大学院科目等履修制度とは

#### 【概要】

- 大学院の授業を原則、土曜日の日中を中心に、Big・u(田辺市)で開講します。  
フィールドワーク(現地調査)を行う授業もあります。
- 入学資格は、大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として入学し、受講後に合格判定を受ければ、所定の単位を取得できます。
- 本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講することができます。

### 【履修可能期間】

○入学後の連続する4学期(2年)間は履修が可能です。この場合、所定の履修願による手続きが必要ですが、検定料・入学料は必要ありません。

### 【和歌山大学大学院経済学研究科修士課程への進学】

令和3年度から経済学研究科改組に伴い、プログラム制となっています。経済学研究科に進学希望の方は、出願前に修了要件等について問い合わせ先までご照会ください。

#### ○既修得単位認定制度

南紀熊野サテライトの科目等履修生が本学大学院経済学研究科に入学した場合、本サテライトでの取得単位を含め、入学前に本学および岸和田サテライトの大学院科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として修了に必要な単位数に算入できます。

#### ○社会人短期履修制度

本研究科修士課程社会人特別選抜の出願資格を満たし、本研究科科目等履修生として6単位以上を修得していれば、通常は修了に2年かかる修士課程を、最短1年で修了することもできます。

※改組に伴い令和3年度以降は、「南紀熊野サテライトコース」を利用することはできなくなりました。

### 学部開放授業受講制度とは

#### 【概要】

○学部開放授業(連携展開科目)を土曜日の日中を中心にBig・u(田辺市)他で開講します。18歳以上(高校生は2ページをご覧ください。)であれば受講者として登録できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講していただけます。

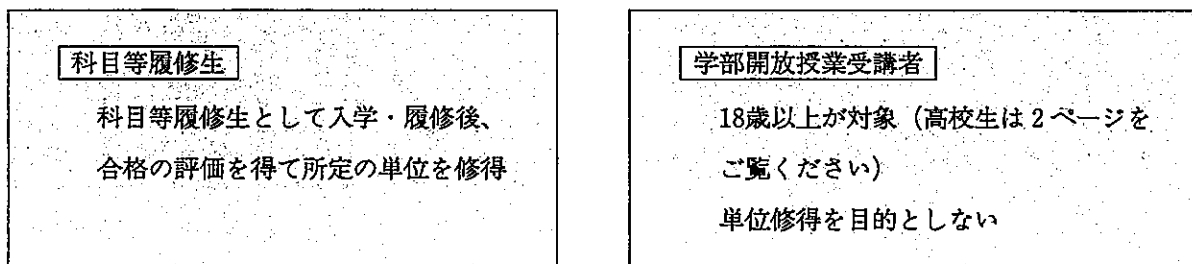
○本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される学部開放授業についても、聴講申請のうえ、受講することができます。

#### 【受講可能期間】

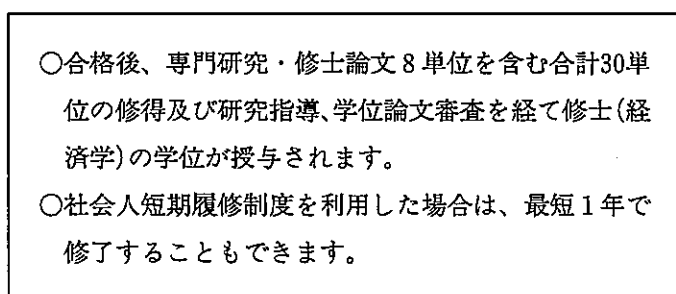
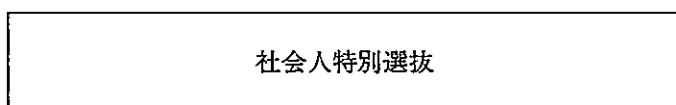
○受講者登録の有効期間は4年間です。登録後の連続する8学期間は、科目ごとの聴講料のみで受講できます。

### 3. 受講モデル

①自分のペースで、関心のある専門分野の知識や幅広い教養を身につけたい人



②さらに大学院経済学研究科修士課程に進み、修士(経済学)の学位取得をめざす人



#### ■大学院へのステップ

南紀熊野サテライトで大学院科目等履修生として単位を修得した受講生の中から、大学院修士課程に進学され、修士(経済学)の学位を取得された方がいらっしゃいます。



## II. 大学院科目等履修生の募集

### 1. 出願および履修願の手続き

#### 募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、16ページ以降をご参照ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

※令和3年度前期の授業は、対面授業を行います。以下の場合に遠隔授業(オンライン)に切り替えます。

- ・自治体に県域をまたぐ移動が自粛、規制されている場合、教員の出講を取消し遠隔対応にします。
- ・教員が新型コロナウイルスに罹患または濃厚接触者となり、自粛期間に授業が該当する場合は授業を延期して補講とします。

(オンライン授業に切り替わった際に必要な受信端末やネット環境は、各自で準備して下さい。)

#### 募集人数

各科目とも、若干名

#### 出願期間・出願方法

令和3年2月15日(月)～2月26日(金)(必着)

出願書類等を学務課学部支援室経済学部係宛に郵送してください。その際、封筒の表に「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

#### 【新規に出願される方】

##### ○入学資格

- ①大学を卒業した者
- ②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※入学資格について不明な点がある方は、検定料振込前に学務課学部支援室経済学部係にお問い合わせください。振込後の返金はいたしかねます。

##### ○検定料

5,000円

##### ○出願書類

- 「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙㊸)  
振込依頼書(用紙㊹)を利用して最寄りの銀行等にて検定料を振込み、振込依頼書のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。
- 「履歴書」(用紙㊺)
- 大学等の卒業(修了)証明書(卒業・修了見込の方は見込証明書)  
証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。  
改姓・改名の場合は、戸籍抄本等それが分かる書類を添付してください。
- 返信用封筒(結果通知用)  
角型2号封筒(100g以内)に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送できるよう必要な額の切手を貼ってください。

※提出する書類は、すべて原本とし、コピーは認めません。

#### 【過去に科目等履修生であった方】

過去に科目等履修生であった方(既に有効期限が切れている方)が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

【現在、科目等履修生である方】

A. 履修可能期間中の方

○出願書類

「履修願」(用紙㊟)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」のコピーを所定の位置に貼付してください。

返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒(100g以内)に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送できるよう必要な額の切手を貼ってください。

B. 有効期限が2021年3月31日の方

有効期限が2021年3月31日の方が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

注1: 卒業(修了)証明書の原本については、過去に提出されている場合は、その証明書のコピーあるいは過去に発行された科目等履修生履修可能期限証(カード)のコピーでもかまいません。

選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、返信用封筒にて郵送します。合格者には入学手続書類を同封します。

入学手続期間・手続方法

令和3年3月16日(火)～3月17日(水)(必着)

手続書類を学務課学部支援室経済学部係まで郵送(期限必着)してください。詳細は入学手続書類に記載します。

入学料および授業料

入学料 10,000円

授業料 14,400円(1単位につき)

詳細については、入学手続書類に記載します。

※所定の期日までに授業料が納付されなかった場合は除籍となります。(入学手続後のキャンセルについては入学手続書類を確認してください。)

その他

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

出願先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部支援室経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

## 南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書

和歌山大学長 殿

氏名 \_\_\_\_\_ ㉘

下記の科目を科目等履修生として履修したいので、入学を許可願います。

記

### 履修希望科目

希望科目	科目名	単位数
<input type="checkbox"/>	マクロ経済学	1
<input type="checkbox"/>	異文化コミュニケーション	1
<input type="checkbox"/>	農業経済学	1
<input type="checkbox"/>	経営史	1

(□：該当するものに「レ」を記入してください。)

履修期間の開始 令和3年4月1日

履修科目数	科目
-------	----

履修総単位数	単位
--------	----

5,000円

新規科目等履修生  
振込金受付証明書  
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㉙)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。



# 履 歴 書

ふりがな 氏 名	男 ・ 女		写 真 欄 (3 × 4 cm)
生年月日	昭和 平成 (西暦	年 月 日 生	最近3ヶ月以内に 撮影の上半身正面 脱帽とする
現住所	(〒 - )          TEL.( ) -		
日中の連絡先 (勤務先・携帯電話等)	(〒 - )          TEL.( ) - E-mail.		
最終学歴  卒業証明書添付要	( 年制)	入 学 ----- 年 月	
		卒 業 ----- 年 月	
勤 務 先 (在職者のみ)			年 月～

# 令和3年度前期検定料の納入について (南紀熊野サテライト大学院科目等履修生用)

① 出願資格について確認を必要とする方は、学務課学部支援経済学部係(073-457-7805)へ確認後振込むようになしてください。  
(出願資格の欠格が多々見受けられますので、特に注意してください。)

② この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関窓口から振込んでください。  
※ ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ ATM(現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。  
※ 振込手数料は、依頼人負担となります。

③ 「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の収納印があることを確認のうえ、受け取ってください。

④ 「振込金受付証明書(C票)」は、願書の所定欄に貼付してください。

⑤ 「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

## 〈振込依頼書等記入要領〉

- ①  太線の枠内は必ず記入してください。
- ② 志願者氏名は、必ず志願者本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。



### C票 振込金受付証明書 令和3年度前期入学検定料 (願書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				

収納印のない場合は、無効となります。

収	納	印
---	---	---

(ご依頼人→大学)

### B票 振込金領収書(本人保存) 令和3年度前期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店			
普通預金	0766935			
口座名	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				
振込手数料	円			

収	納	印
---	---	---

(取扱店→ご依頼人)

切り取って、金融機関にお出しください。

### A票 振込依頼書 令和3年度前期入学検定料

電信扱

依頼日	令和	年	月	日	振込指定	円
振込先銀行	紀陽銀行	紀の川支店	(警)	0766935	金額	5,000円
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学				現金	
整理番号	5	6	1		内	
フリガナ					取	
志願者氏名					振込手数料	
住所					電話	

\*金融機関へお願い

- 1. 整理番号、志願者氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
- 2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

収	納	印
---	---	---

(取扱店保存)

手数料ご依頼人負担

# 履 修 願

和歌山大学長 殿

学生番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ ㊦

下記の科目を履修したいので、許可くださるようお願いいたします。

記

## 履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	マクロ経済学	1
<input type="checkbox"/>	異文化コミュニケーション	1
<input type="checkbox"/>	農業経済学	1
<input type="checkbox"/>	経営史	1

(□：該当するものに「レ」を記入してください。)

※有効期限が2021年3月31日の方は、用紙㊦を使用してください。

有効期限 (西暦) 20 年 月 日

(科目等履修生履修可能期限証(カード)を参照ください。)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」  
のコピー貼付欄

### Ⅲ. 学部開放授業受講者の募集

#### 1. 登録および申請の手続き

##### 聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位はありません。)

※高校生は2ページをご覧ください。

##### 募集科目および募集人数・会場

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

※令和3年度前期の授業は、対面授業を行います。以下の場合に遠隔授業(オンライン)に切り替えます。

- ・自治体に県域をまたぐ移動が自粛、規制されている場合、教員の出講を取消し、遠隔対応にします。
- ・教員が新型コロナウイルスに罹患または濃厚接触者となり、自粛期間に授業が該当する場合は、授業を延期して補講とします。

(オンライン授業に切り替わった際に必要な受信端末やネット環境は、各自で準備して下さい。)

「地域暮らしの法律学D」

「コロナ後の世界に暮らす」

(30名程度)……田辺市会場 <和歌山県立情報交流センターBig・u>

「「人生論」の哲学」

(30名程度)……「「人生論」の哲学」のみ、Zoomによるオンライン配信授業です。

「地域づくりの理論と実践B」(通年科目) ※開講できない場合があります。

(15名程度)……田辺市会場 <秋津野ガルテン(田辺市上秋津4558-8)>

※「地域づくりの理論と実践B」の開講の有無は、2月中旬に決定される見通しです。決定されました時点で、正式にホームページ(南紀熊野サテライト <http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/>)等において発表します。開講の有無を確認後、申請して下さい。

※お問い合わせは会場ではなく次頁の和歌山大学南紀熊野サテライト迄お願いします。

##### 登録および申請期間・方法

令和3年4月7日(休)～4月21日(休)(必着)

以下「必要となる書類等」を参考に、申請書類を和歌山大学南紀熊野サテライトオフィス宛に郵送してください。その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

※持参による申請は、4月21日(休)に限り、10時から17時まで受け付けます。

※必ず上記申請期間内に手続き(振込み等)してください。

(申請期間より前(4月7日より前)の申請(振込み等)は、正しく登録されないことがあります。)

(注)学部開放授業の開講日は、重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合は、ご注意ください。

必要となる書類等

<p>1. はじめて登録される方 2. 登録の有効期限が2021年3月31日以前の方</p>	<p>2021年4月1日現在、登録有効期間中の方</p>
<p><input type="checkbox"/> 学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書 (用紙㊸)</p> <p><input type="checkbox"/> ・登録料 7,000円 ・聴講料 { 10,000円 (1科目の場合) 20,000円 (2科目の場合) 30,000円 (3科目の場合) 40,000円 (4科目の場合)</p> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊹)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊸の所定の位置に貼付してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊺ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。</p>	<p><input type="checkbox"/> 学部開放授業聴講申請書&lt;開放授業登録済者用&gt; (用紙㊹)</p> <p><input type="checkbox"/> ・聴講料 { 10,000円 (1科目の場合) 20,000円 (2科目の場合) 30,000円 (3科目の場合) 40,000円 (4科目の場合)</p> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊹)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊹の所定の位置に貼付してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊺ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。</p>

【参考】登録料…聴講を希望する方は、学部開放授業受講者の登録(7,000円)が必要となります。

1回の登録で4年間(連続する8学期間)の聴講申請が可能です。

聴講料…授業料にかかわるものです。1科目につき10,000円です。

※受講登録後の払戻しはできません。

高校生を対象とした大学授業の公開制度(P.2)による高校生の受講料は別途設定されております。

和歌山大学ホームページよりご確認ください。

※改定があった場合は、改定後の金額とします。

申請書類受付通知

申請書類受理後、お送りいただきました受付通知はがきを送付します。募集期間終了日(4月21日)から3～4日過ぎても受理通知はがきが届かない場合は、下記窓口へお問い合わせください。

受講通知

授業開始日の10日前頃までに、授業案内(教室等お知らせ)を送付します。

登録および申請先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 南紀熊野サテライト	〒646-0011 田辺市新庄町3353-9-102 和歌山県立情報交流センターBig・u内	0739-23-3977 (fax 0739-23-3978) nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 10:00～17:00 (日曜・月曜・祝日休み)

学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書

和歌山大学長 殿

写真欄  
(3×4cm)

最近3ヶ月以内に  
撮影の上半身正面  
脱帽とする

申請者

フリガナ  
氏名 \_\_\_\_\_ ㊦  
生年月日(西暦) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日(男・女)  
現住所(〒 \_\_\_\_\_ )  
電話番号( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ 職業 \_\_\_\_\_  
携帯電話番号 \_\_\_\_\_  
E-mail \_\_\_\_\_

保護者(※申請者が未成年の場合に必要)

氏名 \_\_\_\_\_ ㊦  
申請者との続柄( \_\_\_\_\_ )

下記の開放授業の聴講を希望しますので、開放授業受講者の登録及び聴講を申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	地域暮らしの法律学D
<input type="checkbox"/>	「人生論」の哲学
<input type="checkbox"/>	コロナ後の世界に暮らす
<input type="checkbox"/>	地域づくりの理論と実践B

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意ください。

※「地域づくりの理論と実践B」は開講できない場合があります。ホームページ等で開講の有無を確認後、申込みを行うようご注意ください。

以下、大学記入欄

学生番号: \_\_\_\_\_  
発行年月日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
有効期限: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

- 1科目 17,000円
- 2科目 27,000円
- 3科目 37,000円
- 4科目 47,000円

新規聴講者  
振込金受付証明書  
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

※ATM又はネットバンキングで振込まれた方は、下の□に✓を記入して下さい。

- ATMにて振込
- ネットバンキングにて振込

### 学部開放授業聴講申請書 (開放授業登録済者用)

和歌山大学長 殿

申請者

学生番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ ㊦

生年月日(西暦) 19 年 月 日 (男・女)

現住所(〒 - ) \_\_\_\_\_

電話番号 ( ) - 職業 \_\_\_\_\_

携帯電話番号 - - \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

保護者 (※申請者が未成年の場合に必要)

氏 名 \_\_\_\_\_ ㊦

申請者との続柄 ( ) \_\_\_\_\_

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	地域暮らしの法律学D
<input type="checkbox"/>	「人生論」の哲学
<input type="checkbox"/>	コロナ後の世界に暮らす
<input type="checkbox"/>	地域づくりの理論と実践B

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意ください。

※「地域づくりの理論と実践B」は開講できない場合があります。ホームページ等で開講の有無を確認後、申込みを行うようご注意ください。

有効期限(西暦) 20 年 月 日

(学部開放授業登録者証を参照ください。)

「学部開放授業登録者証」のコピー貼付欄

- 1 科目 10,000円
- 2 科目 20,000円
- 3 科目 30,000円
- 4 科目 40,000円

登録期間中の聴講者  
振込金受付証明書  
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

※ATM又はネットバンキングで振込まれた方は、下の□に✓を記入して下さい。

- ATMにて振込
- ネットバンキングにて振込

# 令和3年度前期学部開放授業の登録料・聴講料の納入について（南紀熊野サテライト用）

費用は、新規受講申請者(用紙①)での申請は登録料7,000円+聴講料10,000円(1科目につき)の計17,000円(2科目の場合は計27,000円)となります。  
更新受講申請者(用紙②)での申請は聴講料10,000円(1科目につき)の計10,000円(2科目の場合は計20,000円)となります。

- ①この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関の窓口から振込んでください。  
※ゆうちょ銀行からは振込みできません。
- ※ATM(現金自動預払機)・ネットバンキングでも振込み可能ですが、その際は下記の振込依頼書に記載の銀行口座に、振込依頼人欄には整理番号「69」と氏名を記入の上(例 69 ワダイ タロウ)、金額に過不足のないようお振込みください。
- ※振込手数料は、依頼人負担となります。
- ②「振込金受付証明書(C票)」と「振込金額収書(B票)」は、金融機関の収納印があることを確認のうえ、受け取ってください。
- ③「振込金受付証明書(C票)」は、申請書の所定欄に貼付してください。
- ④「振込金額収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

## 〈振込依頼書等記入要領〉

- ① 太線の枠内は必ず記入してください。
- ② A票・B票・C票の金額欄は、登録料と聴講料の合計を記入してください。
- ③ 受講者氏名は、必ず受講生本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。



切り取って、金融機関にお出しください。

### C票 振込金受付証明書 令和3年度前期登録料・聴講料 (申請書所定欄貼付用)

依頼日	令和 年 月 日	円
金額		
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店	
受取人	和歌山大学	
フリガナ		
受講者氏名		

収納印のない場合は、無効となります。

収 納 印
-------------

(ご依頼人→大学)

### B票 振込金額収書(本人保存) 令和3年度前期登録料・聴講料

依頼日	令和 年 月 日	円
金額		
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店	
受取人	普通預金 0766935	
口座名	和歌山大学	
フリガナ		
受講者氏名		
振込手数料		円

収 納 印
-------------

(取扱店→ご依頼人)

### A票 振込依頼書 令和3年度前期登録料・聴講料

依頼日	令和 年 月 日	振込指定	円
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店 (普)	金額	
口座名	ワカヤマグアイガク 和歌山大学	内 訳	
整理番号	69		
フリガナ			
受講者氏名			
住所			

収 納 印
-------------

(取扱店保存)

\*金融機関へお願い

1. 整理番号、受講生氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

電話番号 ( )

手数料ご依頼人負担



## IV. 令和3年度前期 南紀熊野サテライト開講授業

### 1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	マクロ経済学 (Macroeconomics)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	荒井 信幸		
開 講	南紀熊野サテライト	区 分	大学院
実施日・時間	第1回 5月8日(土) 13:00~17:00		
	第2回 5月29日(土) 13:00~17:00		
	第3回 6月26日(土) 13:00~17:00		
<p><b>【授業のねらい・概要】</b></p> <p>主として日米の政府機関で作られている最新のマクロ経済統計や報告書を、読み進めることで、経済動向への理解を深めます。自ら経済データを収集、処理してグラフを作成することで、新たな発見をする面白さを知って頂きます。日米のマクロ統計を中心に、国際比較や気づきを掘り下げ、分析レポートを作成します。</p> <p><b>【授業計画】</b> 授業は以下の構成に沿って進め、必要に応じて内容を追加します。</p> <p><b>第1回「主要なマクロ経済報告書・統計の読み方とデータ取得」</b></p> <p>日米の政府によるマクロ経済指標と作成主体について紹介します。その後、日米政府による最新の年次マクロ経済報告書を読み解きます。また月次のマクロ経済報告書についても学びます。最後に政府や中央銀行のデータベースから最新のマクロ経済データを取得する方法を学びます。この授業の復習として、受講者は自分でデータをダウンロードし、整理する作業を行います。</p> <p><b>第2回「日米のマクロ経済データの加工と分析」</b></p> <p>日米の様々なマクロ経済データを取得し、様々な加工をして、データから経済現象が浮かび上がるようになるよう演習します。また、より見やすく理解しやすいグラフの作成方法についても学びます。日米のマクロ経済データを比較検討することで、新たな気づきと、更なる探求をしていきます。この授業のあと、受講者は、第3回目の発表に向けてレポート作成を行い、第3回目の前までに提出します。</p> <p><b>第3回「マクロ経済指標の注目点とレポート報告」</b></p> <p>授業の前半では、最新のマクロ経済指標を使って、注目点は何かについて学び、議論していきます。授業の後半では、受講者が作成提出したレポートについてプレゼンテーションを行い、クラスでディスカッションします。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <p>マクロ経済統計や報告書を通じて、データの背景にある理論や経済現象を理解し、自分で最新のデータを収集、分析できる。分析結果について、報告書を作成することができる。</p> <p><b>【教科書】</b></p> <p>特に定めません。適宜、参照すべき資料を指示します。</p> <p><b>【参考書】</b></p> <p>例えば以下のような資料について、必要な部分を指示します。          (米国) CEA, Economic Report of the President, Economic Indicators, St. Louis FED, FRED Economic Data.          (日本) 内閣府「年次経済財政報告」、「月例経済報告」</p> <p><b>【成績評価方法】</b></p> <p>授業への参加態度、期末レポートにより総合的に評価します。</p> <p><b>【授業時間外学修についての指示】</b></p> <p>シラバスで示されたテーマについて、関連ウェブサイトを開き、必要な資料やデータをダウンロードし、最新の経済データに触れてきて下さい。講義をもとに、自分で経済データを入力し、グラフや表を作成して行って下さい。</p> <p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b></p> <p>授業はマクロ経済データについての解説や、データの活用についてのエクセルを使った演習を中心に行いますので、パソコンをご持参下さい。主体的に取り組むことを前提としていますので、積極的な参加を期待します。第3回目では受講生に経済データを使ったレポートを提出して頂き、プレゼンテーションを行って頂き、参加者で議論を行います。</p> <p>※基本的には対面での実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要なおパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			

授業科目名 (英文表記)	異文化コミュニケーション (Intercultural Communication)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	遠藤 史		
開 講	南紀熊野サテライト	区 分	大学院
実施日・時間	第1回 4月24日(出) 13:00~17:00		
	第2回 5月15日(出) 13:00~17:00		
	第3回 6月5日(出) 13:00~17:00		
<b>【授業のねらい・概要】</b>			
<p>グローバル化が進む現代社会において、現代の国際的なビジネスの場や、国際的な研究交流の場において、文化間の衝突や誤解を避け、互いの文化について適切な理解を求められる機会が増えています。国内においても、職場や地域社会で内なるグローバル化が進むにつれ、適切な対処が必要となってきています。この授業では、国際的な文化・社会研究で得られた知見をもとに、社会的行動、対人関係、ビジネス上の慣習などについて、一般的な理解とともに、個別のケースにも目配りしつつ、国際ビジネス人としてのふるまいに必要な異文化コミュニケーションの知識を学び、スキルの養成につなげていきます。</p>			
<b>【授業計画】</b> 授業は以下の構成に沿って進め、必要に応じて内容を追加します。			
<b>第1回「異文化との出会いとコミュニケーション」</b>			
<p>私たちが暮らしている社会には、法律のように明文化されたルールの他にも、社会の成員が共有している暗黙のルールである文化があります。授業では文化の一般的な概念から出発し、国・地域・組織・社会セクターなどにまたがる文化の重層性を学びます。さらに、グローバル化が進む現代社会において、文化間の衝突や誤解が新たな問題として浮上している中、異文化コミュニケーションの必要性を考えていきます。</p>			
<b>第2回「ビジネスと異文化コミュニケーション」</b>			
<p>現代では国際的なビジネスの場が拡大し、多国籍・多文化のチームがビジネスに取り組む機会が増大してきています。このようなチームは、どのようにして文化間の衝突や誤解を避けつつ、高いパフォーマンスを達成していけばよいのかを考えていきます。最近注目されているカルチャー・マップという視点を紹介し、文化を具体的な指標から見ることによって、国際ビジネスの場での事例をいくつか検討します。</p>			
<b>第3回「これからの社会と異文化コミュニケーション」</b>			
<p>内なるグローバル化が進む現代の日本社会においても、文化間での衝突や誤解を避けるために、適切な異文化コミュニケーションの必要性が増しています。身の回りでの異文化との出会いについて、受講生の皆さんに話をさせていただくことで問題提起を行い、言語の問題、移民問題等の事例を検討していきます。最後には、これからの社会の中で私たちはどのようにして文化の違いを乗り越えていけばよいのかを共に考えます。</p>			
<b>【到達目標】</b>			
<p>文化の基本的な概念を理解し、現代社会での異文化コミュニケーションの必要性を理解できること。ビジネスの場での適切な異文化コミュニケーションに向けて、カルチャー・マップの各指標とその事例を理解できること。これからの社会の中での異文化コミュニケーションがどのような場面で必要とされるかを理解できること。</p>			
<b>【教科書】</b>			
特に定めません。適宜、資料を配布します。			
<b>【参考書】</b> ※購入は必須ではありません。			
G・ホフステッド他「多文化世界 違いを学び未来への道を探る」(有斐閣、2013年)			
エリン・メイヤー「異文化理解力」(英治出版、2015年)			
<b>【成績評価方法】</b>			
議論への参加状況(50%)、最終レポート(50%)により総合的に評価します。			
<b>【授業時間外学修についての指示】</b>			
多国籍・多文化のチームが国内・国外でどのようにビジネスを展開しているかの事例、また日本国内における異文化の出会いの事例について、新聞記事やインターネット記事を意識して読むようにして下さい。			
<b>【履修上の注意・メッセージ】</b>			
身の回りでの異文化との出会いについて、受講生に事例を紹介していただき、それをもとに議論を行うことを検討しています。積極的な議論への参加を期待します。			
※基本的には対面での実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要パソコン、ネット環境は、各自で準備してください。			

授業科目名 (英文表記)	農業経済学 (Agricultural Economics)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	岸上 光克		
開 講	南紀熊野サテライト	区 分	大学院
実施日・時間	第1回 6月12日(土) 13:00~17:00		
	第2回 7月3日(土) 13:00~17:00		
	第3回 7月17日(土) 13:00~17:00		
<p><b>【授業のねらい・概要】</b>  農業の現状と課題について基礎的知識を身につけるとともに、食料需給や農産物貿易等の「農」と「食」をめぐる社会経済問題を経済学的視点から理解する。内容としては、世界の農業と食料問題、農産物貿易の経済理論と農業保護、食料の需要と供給、経済発展と日本農業、日本農業の担い手・農地、農業と資源保全、日本農業と農産物流通、フードシステムと食品安全などとする。</p> <p><b>【授業計画】</b>  <b>第1回① オリエンテーション、農業経済学とは何か。</b>  農業における農業経済学の特徴、農業経済学に求められるスキルや知識  【予習】 食料・農業・農村問題に関する情報収集を行うこと  【復習】 ポストコロナ、ウィズコロナにおける、食料・農業・農村がどのようになるか将来を予測すること</p> <p><b>第1回② 食料・農業・農村をめぐる情勢</b>  最新の食料・農業・農村白書をもとに、農業・農村の過去・現在を確認  【予習】 食料・農業・農村白書について事前に調べておくこと  【復習】 授業で習った以外の白書の内容について確認すること</p> <p><b>第2回① 農村活性化における事例分析</b>  6次産業化や農商工連携の現状を把握、農業・農村における特徴的な取り組みを解説  【予習】 農業・農村の活性化に取り組む事例を調べておくこと  【復習】 授業で習った事例以外の取り組みを確認すること</p> <p><b>第2回② 農協販売事業(直売所)における事例分析</b>  産地を取り巻く環境変化を把握、農協販売事業(直売所)における特徴的な取り組みを解説  【予習】 農協販売事業(直売所)について事前に調べておくこと  【復習】 授業で習った事例以外の取り組みを確認すること</p> <p><b>第3回① 山間地域における事例分析</b>  山間地域振興に向けた政策とともに、山間地域における特徴的な取り組みを解説  【予習】 山間地域の活性化に取り組む事例を調べておくこと  【復習】 授業で習った事例以外の取り組みを確認すること</p> <p><b>第3回② まとめ、最終課題の作成と提出</b>  これまでの講義内容を踏まえ、これからの農業・農村について検討  【予習】 これまでの授業の内容を整理すること  【復習】 最終課題を完成させ、提出すること</p> <p><b>【到達目標】</b>  食料・農業・農村の過去・現在を把握するとともに、最近の動向を知り、今後のあり方について各自が検討できることを目標としています。具体的には、既存文献や論文、統計データをもとに、現状分析ができること、特徴的(優良)事例を取り上げ、特質すること、それらを他者に説明することができることなどがあげられます。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>  各回の講義で行った課題の提出(50点)および最終課題の提出(50点)により評価します。</p> <p><b>【教科書】</b>  特に指定しません。必要に応じて、資料やファイル(データ)を配布します。</p> <p><b>【参考書・参考文献】</b>  ・藤田武弘・内藤重之・細野賢治・岸上光克「現代の食料・農業・農村を考える」ミネルヴァ書房(2018)  ・農林水産省「食料・農業・農村白書」(各年)  その他、授業中に適宜紹介する。</p> <p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b>  授業時に提示された予習課題に自主的に取り組んでください。それを踏まえて、授業で議論をします。  受講生の理解度を見ながら、授業の進度やトピックの一部を調整することがあります(そのつど説明します)。授業内容や個人差によって変わりますが、予習に1時間、復習に1時間程度の学習を計画してください。</p> <p><b>【履修をする上で必要な事項】</b>  特になし</p> <p><b>【授業時間外学修についての指示】</b>  授業時間外学習(予習・復習)については授業計画を参照のこと。  ※基本的には対面での実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要パソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			

授業科目名 (英文表記)	経営史 (Business History)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	長廣 利崇		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	① 6月19日(土) 13:00～17:00		
	② 7月10日(土) 13:00～17:00		
	③ 7月24日(土) 13:00～17:00		
<p><b>【授業のねらい・概要】</b>  この講義では、江戸時代から高度経済成長期までの日本を中心とした企業経営の歴史について検討する。現代の企業の戦略や組織形成を見る際、歴史の視点が必要になってくる。この理由は、現在が過去の蓄積によって成り立つからである。従って、日本の大企業のみならず中小零細企業、企業家などの活動を検討することが重要となってくる。とりわけ、この企業はケース・スタディの方法によって、個別企業や企業家の活動をひとつひとつ検討する。</p> <p><b>【授業計画】</b>  <b>第1回：大衆消費市場を目指した企業経営の歴史</b>  近世の大都市である江戸、戦間期の大都市、高度経済成長下のマス・マーケティングなど時代を問わず大衆消費市場を目指した企業戦略は存在した。この戦略を形成したアメリカの事例を最初に検討し、その後、日本における企業経営の特長を学ぶとともに、現在への応用の如何を討論する。  <b>第2回：中小企業・産業集積</b>  第1回で検討したのは主に大企業であったが、戦前期日本を主とした中小企業の歴史を検討する。はじめに中小企業に関する経済理論を学んだ後、戦間期の泉南の織物産業などを考察する。また、中小企業の成長に必要な策を討論する。  <b>第3回：企業家の歴史</b>  企業家とは新たな事業を起こす「起業家」のみならず、従業員として新たなイノベーションを起こす「社内企業家」も存在する。はじめにシュンペーターなどの企業家に関する経済理論を検討した後、企業家の輩出条件やその活動に関して、松下幸之助などの著名な企業のみならず、無名の企業家の動向を探る。また、現在における企業家の輩出条件を討論する。</p> <p><b>【到達目標】</b>  事例として取り上げた日本の企業や企業家の動向を理解すること。さらにこれらのケース・スタディを用いて自分の主張を提示すること。</p> <p><b>【成績評価方法】</b>  議論への参加状況(40%)、小テスト(30%)、最終レポート(30%)による。</p> <p><b>【教科書】</b>  適宜、配布する。</p> <p><b>【参考書・参考文献】</b>  宮本又郎他編「1からの経営史」碩学社</p> <p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b>  討論をする授業となりますので、積極的な発言をお願いします。なお、コロナウィルスの状況によっては、オンライン・オンデマンド型とオンライン同時双方型を組み合わせた授業になることもあります。</p> <p><b>【履修する上で必要な事項】</b>  特になし</p> <p><b>【受講を推奨する科目】</b>  なし</p> <p><b>【授業時間外学修についての指示】</b>  配布された文献がある場合は事前にそれを読むこと。</p> <p><b>【その他連絡事項】</b>  ※基本的には対面での実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要パソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			

## 2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	地域暮らしの法律学D ～男と女の法律学～ (Legal Studies of community life D)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	吉田 雅章		
開 講	南紀熊野サテライト	区 分	学部開放科目
実施日・時間	① 5月15日(土) 9:30～14:30	④ 6月26日(土) 9:30～14:30	
	② 6月5日(土) 9:30～14:30	⑤ 7月3日(土) 9:30～14:30	
	③ 6月19日(土) 9:30～14:30	⑥ 7月24日(土) 9:30～14:30	
<p><b>【授業のねらい・概要】</b></p> <p>どのような地域に暮らすにしても、さまざまな問題が発生します。好むと好まざるとにかかわらず、法律と関わりを持たないことはないでしょう。地域で暮らすために法律の知識は不可欠だと思います。しかし、法律は自分とは関係のない存在であるかのように考えられがちで、さらに、暗くて近寄りたいたいというような悪いイメージさえ持たれることもあります。その原因として、法律用語の難解さ、法律学は無味乾燥であるというイメージ、法律解釈の理屈っぽさなどが考えられます。「地域暮らしの法律学」では、地域に存在する日常生活の種々の場面を具体的な例として取り上げて、可能な限り分かりやすく説明し、法律がどのように役に立っているか、そして、日常茶飯事でさえ法律抜きでは考えられないということなどを理解してもらうことを目標としています。その手段として、多くの映画やTV番組等を視聴してもらい、法律学の敷居の高さを少しでも低くする工夫を致します。「地域暮らしの法律学D」では、「男と女の法律学」をテーマとして、結婚と離婚を中心に講義する予定です。嘘か本当か判りませんが、離婚関係の書籍には、離婚には結婚の3倍ものエネルギーを必要とすると書かれています。一方で、現代では、「バツイチ・バツニは当たり前」という言葉も耳にします。そのため、結婚よりは離婚に重点を置いて講義する計画です。講義内容の説明においては和歌山家庭裁判所の家事調停委員をしていた経験を生かして受講生の皆さんの参考になるように努めるつもりです。</p> <p><b>【授業計画】</b> ※あくまでも事前の計画であり、受講生の皆さんのご希望に添うように変更することも可能です。 受講生の皆さんと相談の上、通常の90分授業では不可能な映画視聴を組み込みたいと思っています。</p> <p><b>第1回 ガイダンス</b> 受講生の皆さんと十分に話し合いをして授業計画を再検討し、順番の変更・講義内容の一新化も可能です。 6回の講義で取り上げる予定のTVドラマ「慰謝料弁護士」や「離婚弁護士」などを紹介します。</p> <p><b>第2回 結婚や内縁に関する問題</b> 何回も再放送されています「離婚弁護士」等を視聴して、結婚の前後に発生する法律問題を考えてもらいます。</p> <p><b>第3回 離婚に関する問題 (特に不倫)</b> 不倫問題を取り上げた映画やドラマは非常に多いので、受講生の皆さんと相談の上、教材として取り上げる映画やドラマを決定したいと思います。第4回から第6回でも同様に致します。</p> <p><b>第4回 離婚に関する問題 (特に子供の親権を中心にしたと思います。)</b></p> <p><b>第5回 離婚に関する問題 (特に養育費を中心にしたと思います。)</b></p> <p><b>第6回 離婚に関する問題 (財産分与と慰謝料を中心にしたと思います。)</b></p> <p><b>【到達目標】</b> バランス感覚を持って地域で生きていくことと、そのための法的スキルを獲得することの重要性を理解すること。</p> <p><b>【教科書】</b> 特に指定はしません。</p> <p><b>【参考書】</b> 講義時に適宜、紹介します。</p> <p><b>【成績評価方法】</b> 学部生のみ、出席しての質疑応答、授業態度やレポートなど総合的に評価します。</p> <p><b>【授業時間外学修についての指示】</b> (学部生用には必須、学部開放授業受講者用は任意。) ネット・テレビ・新聞等で紹介される色々な家族問題について関心を持って目を通して下さい。</p> <p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b> 基礎知識がなくても理解できるように授業を構成します。ただ、もしも可能であれば、各自でわかりやすい法学入門書などを読んで前理解を深めるようにしておいて下さい。</p> <p>※基本的に授業は対面での実施を予定しますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			

授業科目名 (英文表記)	「人生論」の哲学 ～コロナ禍の今、日本三大随筆を読み直す～ (An Introduction to Japanese Philosophy : Essay on Life)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義、オンライン(Zoom)
担当教員	天野 雅郎		
開 講	南紀熊野サテライト	区 分	学部開放科目
実施日・時間	① 5月29日(土) 13:00～17:00		
	② 6月12日(土) 13:00～17:00		
	③ 6月26日(土) 13:00～17:00		
	④ 7月10日(土) 13:00～17:00		
	⑤ 7月31日(土) 13:00～17:00		
	⑥ 8月21日(土) 13:00～17:00		
<p><b>【授業の概要・ねらい】</b></p> <p>哲学は難しい、という印象を多くの人が持っています。 たしかに、哲学は難しく、ひよっとすると全ての学問の中で、もっとも難しい学問であるのかも知れませんが、それと同時に哲学は、いたって易しい、あらゆる人に開かれた学問(と言うよりも、学問以前の学問)であることも事実です。</p> <p>この授業では、そのような哲学の難しさと易しさを、あたかも茶の湯(=茶道)と日常茶飯の両面から、お茶を飲み、ご飯を食べるかのように、皆さんに伝えることが叶えば幸いです。</p> <p>今回のテーマには、人生論を選んでみました。</p> <p>なぜなら、そもそも哲学が一番、哲学の特徴を際立たせ、それ以外の学問との違いを浮かび上がらせるのは、この「人生論」であるからです。(…人は何故、生きるのでしょうか？ 生きることによって、人は何を願い、何を望んでいるのでしょうか？ 人が生きることには、どのような意味と価値が含まれているのでしょうか？…)</p> <p>古来、このような問い掛けは、哲学が延々と繰り返してきたテーマに他なりませんし、現在、いわゆる「コロナ禍」や、さまざまな禍(わざわい=災)を通じて、あらためて私たちに突き付けられているテーマに他なりません。</p> <p>この授業では、そのような哲学の、古くもあれば新しくもある、永遠のテーマを踏まえつつ、この国の代表的な人生論である「枕草子」と「方丈記」と「徒然草」を読み直し、この「日本三大随筆」の面白さを、皆さんと共に味わうのが狙いです。</p> <p><b>【授業計画】</b></p> <p>第1回：講読「枕草子」 第2回：同上 第3回：講読「方丈記」 第4回：同上 第5回：講読「徒然草」 第6回：同上</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <p>コロナ禍の今、人が地域社会(ひいては、国際社会)で生きることには、どのような意味と価値と、その困難が伴われうるのでしょうか。一人一人の「人生論」を築き上げるのが目標です。</p> <p><b>【教科書】</b></p> <p>角川文庫(ビギナーズ・クラシック)版 ①「枕草子」 ②「方丈記」 ③「徒然草」</p> <p><b>【参考書】</b></p> <p>適宜、紹介します。</p> <p><b>【授業時間外学修についての指示】</b></p> <p>毎回、テキストの所定の箇所を読み、授業に参加することが必要です。</p> <p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b></p> <p>多くの皆さんの、ご参加を期待します。</p> <p>※この科目は、Zoomを利用したオンラインによる遠隔授業です。 オンラインによる授業を受講する場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			

授業科目名 (英文表記)	コロナ後の世界に暮らす ～感染症の時代と人間・地域・社会～ (Living in the post-corona world)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	金川 めぐみ、厨子 直之、豊田 充崇、藤永 博、鈴木 裕範 (非常勤講師)		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 6月19日(土) 13:00～17:00	④ 8月7日(土) 13:00～17:00	
	② 7月3日(土) 13:00～17:00	⑤ 8月28日(土) 13:00～17:00	
	③ 7月24日(土) 13:00～17:00	⑥ 9月4日(土) 13:00～17:00	

#### 【授業の概要・ねらい】

本授業では、新型コロナウイルスのパンデミックが日本社会の諸問題を焙り出すなかで、混沌の時代を生きていく社会のあり方や個人の暮らしを、三つのテーマで考察することを目的とします。ひとつは、「縮小社会」が福祉や雇用にどのような問題を引き起こしているのかを検証しながら、生きやすい地域・社会をどのように実現していくのかを考えます。二つ目は「大事件」のもとで、判断を間違えないための情報の読み方です。コロナから学ぶ大災害への備えと知恵を探ります。歴史的な事件に直面したとき、国民に「正確な情報」を伝えるのは、SNSではなくジャーナリズムの仕事です。コロナ下で日本のジャーナリズムは国民の期待に十分応えたか、あすの暮らしのために改めて考察すべき問題です。そして情報を扱う際の情報(メディア)リテラシーや教育分野にも急速に導入が進みつつあるICTの活用に関しても正しい知識が必要となっています。情報の受け止めと活用に関しても考えます。三つ目は「ワンワールド・ワンヘルス」の考えです。人と人のつながり、ヒトとウイルスの関係、人間を含めた生態系(環境)などについてふりかえり、そのうえでコロナ後の世界での暮らしを考えてみます。

#### 【授業計画】

##### 第1回「コロナ前後の福祉政策」 経済学部：金川 めぐみ

コロナ禍は、和歌山県の地域経済にも深刻な影響を与えており、企業等の活動の停滞は多くの生活困窮者を生み出し、とくに一人親家庭や非正規雇用者などの暮らしを直撃しています。コロナ前後の福祉政策の現状と課題を明らかにし、これからを展望します。

##### 第2回「こころの資本の高め方」 経済学部・厨子 直之

こころの資本(心理的資本)とは、一人ひとりが持つポジティブな心のエネルギーのことです。コロナによるパンデミックの状況下だからこそ、変化を恐れず前向きに行動していく強さが不可欠です。こころの資本の高め方について、ポジティブ心理学を基盤とする組織開発のワークを行いながら考えていきます。

##### 第3回「情報(メディア)リテラシー」 教育学部：豊田 充崇

現在、情報は様々な方法で入手することができる反面、その情報源が正しいのか否か、判断するのもまた困難な時代となっています。情報媒体過多時代に、間違えない判断のための情報(メディア)リテラシーについて考えます。

##### 第4回「教育とICT」 教育学部：豊田 充崇

コロナ禍で急速に導入が進んだICT活用に関して、学校現場での導入の際の利点や課題、インフラに課題のある地域と都市部の教育の機会格差は有るのか、今後のICT活用教育の方向性と可能性を考えます。

##### 第5回「ジャーナリズムの役割と責任」 非常勤講師：鈴木 裕範

正義の顔をしてあおる憎悪、匿名の向こう側に隠れて発信されるヘイトニュース。危機にこそ国民・市民の期待に応えることが期待されるジャーナリズムはどこにいるか。「コロナ報道」を検証しつつ、ジャーナリズムの可能性と問題点をあげ課題を考え、よりよい社会への可能性を考えます。

##### 第6回「ウイルスと人間 - 「ワンワールド」に生きる」 経済学部：藤永 博

私たちはエマージング・ウイルスが次々と人類を襲う時代を生きています。そうした時代の一局面であるコロナ後の世界での暮らしに想いを巡らせつつ、人と人のつながり、ヒトとウイルスの関係、そして人間を含めた生態系(環境)についてふりかえります。ウイルスと人間と環境のつながりを、「ワンワールド・ワンヘルス」の考え方を取り入れて捉え直してみます。

#### 【到達目標】

現代社会における社会環境、福祉に関する知識を得る。メディアの活用や情報リテラシーの意味について、自分の考えを述べることができる。多様な社会環境のなかで暮らすための情報を正しく得て活用することができる。

#### 【教科書】

使用しません。必要に応じて資料を提供します。

#### 【参考書】

村上陽一郎 編「コロナ後の世界を生きる－私たちの提言－」(岩波新書、2020年) ISBN: 978-4-00-431840-8  
 山内一也 著「新版 ウイルスと人間」(岩波科学ライブラリー、2020年) ISBN: 9784000296960  
 東京大学総合研究会 編「ヒト、人、人間 われらはどこから来てどこへ行くか」としてはいるのか」 ISBN: 9784130031059  
 他の参考書は授業時間中に紹介します。

#### 【成績評価の方法】

レポート100% 各担当者がレポートの課題・テーマを設定し、授業時間中に説明します。

#### 【授業時間外学修についての指示】

授業後、内容の復習をしっかりと行ってください。予習課題を必要とする場合には、担当講師から事前に連絡します。

#### 【履修上の注意・メッセージ】

授業中、ディスカッションの時間を多くとりたいと思います。参考書などを利用して予習をし、積極的に参加してください。

※基本的に授業は対面での実施を予定しますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要のパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。

授業科目名 (英文表記)	地域づくりの理論と実践 B ※開講できない場合があります。下記を参照 (Strategic regional/community management B)		
単位数	2 (学部生のみ) 【通年】	授業形態	講義・演習
担当教員	藤田 武弘		
実施場所	秋津野ガルテン (和歌山県田辺市上秋津4558-8)		
実施日・時間	下記「授業計画」のとおり	区分	学部開放科目
<p>【講義概要】</p> <p>少子高齢化が進展する日本では、都市と農村との格差が拡大し、農村では「限界集落」が増加するなどの問題が起こっている。しかし、その一方で食の土台となる第一次産業の営みや農山漁村での暮らしに対する都市住民の関心も高まっている。そして、農村においても「地域資源の活用」「農工商連携」「都市農村交流」など様々な取り組みが進められている。なかでも、都市農村交流における「鏡効果」の存在は、農山村再生の手法としても大いに注目を集めている。近年、総務省がふるさとの地域づくりを支える多様な担い手として提起した「関係人口(長期的な定住人口でも短期的な流動人口でもなく、当該地域や住民と多様に関わる者)」づくりは、まさにこのような交流を土台に拡がりを見せるものと考えられる。本講座は、農業・農村の現状に対する「当事者意識」に裏付けられた深い共感と問題関心を有し、且つ新たな地域づくりの担い手として注目される「関係人口」を創出する上でのコーディネーターとしての役割を果たしうるホスピタリティ豊かな地域づくり人材の育成を目的として開講する。</p> <p>【授業計画(通年)】 ※授業計画については、詳細なスケジュールが決まりしだい、 ホームページ(南紀熊野サテライト：<a href="http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/">www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/</a>)等で公表いたします。</p> <p>〈前期〉〈視座1〉： (土日開講) (土曜2講義+日曜1講義)  〈視座2〉： (土日開講) (土曜2講義+日曜1講義)  〈視座3〉： (土日開講) (土曜2講義+日曜1講義) ※8月初旬頃を予定  〈後期〉〈視座4〉： (土日開講) (土曜2講義+日曜1講義)  〈視座5〉： (土日開講) (土曜2講義+日曜1講義)</p> <p>【到達目標】</p> <p>本学では「域学連携」の観点に基づく地域での多様な実践型教育・研究が行われている。本講義の受講者が、それら地域での実践的な学びを自ら深めていくことを期待したい。なお、本講義は江頭ホスピタリティ事業振興財団の「寄附講義」として開講されることから、受講者における地域での学びの質的变化やキャリア形成に与える影響等の教育効果の検証を行う予定である。</p> <p>【教科書・教材】</p> <p>毎回レジュメ・資料を配布する。</p> <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○橋本卓爾・山田良治・藤田武弘・大西敏夫編「都市と農村—交流から協働へ—」日本経済評論社、2011年。</li> <li>○濱谷浩介・NHK広島取材班「里山資本主義」角川書店、2013年。</li> <li>○岸上光克「廃校活用による農山村再生」JC総研ブックレット、筑波書房、2015年。</li> <li>○小田切徳美「農山村は消滅しない」岩波新書、2015年。</li> <li>○藤田武弘・内藤重之・細野賢治・岸上光克編著「現代の食料・農業・農村を考える」ミネルヴァ書房、2018年。</li> </ul> <p>【授業時間外学修についての指示】</p> <p>本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行うこと。さらに、授業内容に関連する課題に調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求める。</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】</p> <p>地域の再生は、一朝一夕に叶うものではない。常に「現場(実態社会)が先生」であるという謙虚さと熱意をもって、社会人などの多世代の人々とともに地域の悩みを共有しながら根気強く問題解決に取り組もうとする受講生を歓迎する。なお、週末の土曜日開催(土曜日2講/日曜日1講とまとめ)というスタイルの講義以外に、オプションで関連するフィールドワーク(現地視察や農家民泊・農作業研修など)が提供されるので、これにも積極的に参加してほしい。</p> <p>※記載の講義順や内容は変更することもあります。</p> <p>※この講義は開講を予定していますが、寄附講義(外部の寄附金に基づき運営される講義)であるため、その寄附金について、交付可否の通知があるのが1月末頃の見込みですので、それを受けて開講するかしないか、正式な決定については、あらためてホームページ(南紀熊野サテライト：<a href="http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/">www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/</a>)等で公表いたします。(2月初旬～中旬)  →この講義を受講したい方は、開講の有無を確認後、申し込みを行うようご注意ください。</p> <p>※新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮して、遠隔講義(オンライン授業やDVDなど)を導入する可能性があります。又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要パソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			



郵便はがき

ここに  
63円切手を貼付  
してください。

--	--	--	--	--	--	--	--

住所	
氏名	様

⑦

※以下は大学側記載欄なので、記入しないで下さい。

令和3年学部開放授業申請書類《前期》受付通知

- 【科目名】
- 地域暮らしの法律学D
  - 「人生論」の哲学
  - コロナ後の世界に暮らす
  - 地域づくりの理論と実践B

あなたの令和3年度前期和歌山大学南紀熊野サテライト学部開放授業の申請書類を受付いたしましたのでお知らせいたします。

なお、授業開始案内(教室等お知らせ)は、授業開始日の10日前頃に郵送します。

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9-102  
和歌山県立情報交流センターBig・u内

国立大学法人 和歌山大学南紀熊野サテライト

- 注) 1. 郵便番号、住所、氏名を記入し63円切手を貼り、申請書類を郵送時に同封してください。  
2. 63円切手の貼付けの無いものは送付できません。  
3. 申請用紙を窓口に持参する場合は、はがきの提出は不要です。

### 〈新型コロナウイルスへの対応について〉

新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、本募集要項の日程・内容等が変更される可能性があります。

詳しくは、和歌山大学南紀熊野サテライトホームページで確認してください。

### 〈気象警報発令時の授業の取扱いについて〉

田辺市・新宮市に「暴風警報」または「大雨警報」が発令された場合は、発令期間中の授業は休止となります。

詳しくは、南紀熊野サテライトホームページを参照してください。

和歌山大学南紀熊野サテライトホームページ

<http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/>

### 〈個人情報の取り扱い〉

本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。